



# 審判ガイド

中学生以上

2020 年度版

NFL  FLAG

NFL FLAG 実行委員会

*JAPAN FLAG FOOTBALL ORGANIZATION*



## NFL FLAG コード

選手、コーチ、その他の試合関係者は、最高のスポーツマンシップと行動への責任を持つこと。

不正な戦術、故意に相手を傷つけることは慎み、正々堂々とプレーすること。

誰もが安全にプレー出来るために、何よりも安全を最優先すること。

### 1 スポーツマンシップ

スポーツマンにふさわしいフェアな競技活動を行うこと。

プレー機会を尊重し、意図的に時間を費やすような行為は慎むこと。

### 2 選手の心得

審判員や対戦相手には最大限の敬意を表すこと。

審判員の判断は絶対的なもので、選手やコーチは如何なるときもこれを受諾すること。

品位を欠く言動及び挑発するような言動は慎むこと。

故意に規則を侵害すること、意図的に不正な行為や乱暴な行為を絶対に行わないこと。

### 3 コーチの心得

コーチは安全を最優先に指導を行うこと。

選手が不正な行為を行わないよう日々努めること。

コーチは品位を欠く行為を行わないよう日々努めること。

### 4 審判員の心得

卑怯な行為、スポーツマンらしくない行為、怪我の恐れがある行為には特に厳しく対処すること。

審判員同士で協力し合い、必要に応じて協議を行うこと。

常に、威厳を損なうことなく、品位と礼節を保つよう努めること。

### 5 警告や退場などの審判規定

判定は審判によって行われ、フィールドキャプテンに告げること。

判定や残り時間の確認はフィールドキャプテンが行うこと。

審判、相手チーム、チーム内、観客に対する暴言及び危険な接触について、審判はただちに試合を止め、一度目は反則を適用し警告を行い、二度目は退場させること。

選手が乱暴な行為を行った時は、審判はただちに試合を止め、その選手を退場させること。



## 審判の名称と主な役割

# R

## レフリー

(セレモニー)

- ・進行統括

(試合全般)

- ・プレー開始位置の決定
- ・レディー・フォー・プレーの宣言
- ・試合の計時
- ・罰則の施行
- ・得点の記録 (他の審判員でも可)
- ・タイムアウト取得数の管理

(プレー)

- ・パスが投げられるのが先かフラッグを取るのが先かの判断

# L

## ラインズマン

(プレー)

- ・オフenseのスタート時の反則の判定
- ・パス時の反則の判定
- ・自分が管轄するサイドライン上の判定及びボールデッド地点の確保

(位置)

オフense側スクリメージライン延長線上

(位置)

最後方の選手から5ヤード程度後方、フィールドジャッジ寄り

(位置)

最後方の選手から5ヤード程度後方、ラインズマン寄り

(位置)

ヤードマーカーが置かれた平行線延長線上

# FJ

## フィールドジャッジ

(プレー)

- ・タッチダウンの判定
- ・ディフェンスのスタート時の反則の判定
- ・自分が管轄するサイドライン上の判定及びボールデッド地点の確保

# BJ

## バックジャッジ

(セレモニー)

- ・ハーフタイムの計時

(試合全般)

- ・ヤードマーカーの設置
  - ・レディー・フォー・プレーからプレー開始までの15秒計の管理
  - ・タイムアウトの計時
  - ・レフリーの補助
- (プレー)
- ・タッチダウンの判定

※ 3人で審判を行う場合には、フィールドジャッジがバックジャッジの役割を兼ねる。  
2人で審判を行う場合には、レフリーがラインズマンの役割を兼ねる。



### 1 試合開始時

各チームの選手全員をサイドラインに整列させた後、サイドラインからフィールド上に導き、再度整列させる。

R

整列後、両チーム名及び注意事項等の確認を行う。

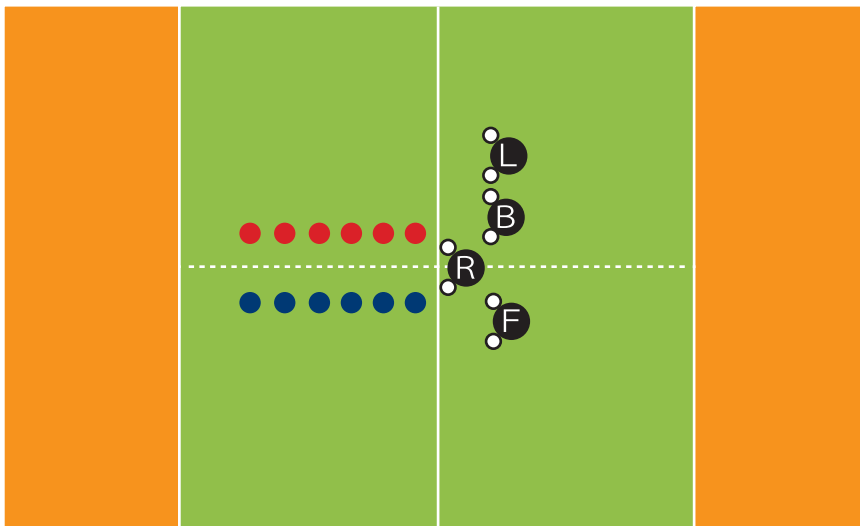
審判は、選手のフラッグが正しい位置に着いているか、適切なスパイクシューズを身に付けているかの確認を行う。

R BJ L FJ

両チームキャプテンに、コイントス（又はジャンケン）を行わせ、「攻撃か守備」または「フィールド」を選択させる。

前半の攻撃方向及びフィールドを、キャプテンに代表させ示す。

両チームの選手に挨拶・握手を促し、チームエリアに戻るよう指示する。



### 2 試合終了時

フィールド上に選手全員を整列させる。

試合結果を発表する。

両チームの選手に挨拶・握手を促し、解散させる。

R



## プレー開始時

レフリーはボールをプレー開始地点に置き、ビーンズマーカを、ボールの先端部分に置く。

R

バックジャッジは、ボールの位置からプレー進行方向に7ヤード離れた位置に、ヤードマーカを置く。(※7歩で計測する)

BJ

フィールドジャッジは、サイドライン上で7ヤードの位置をバックジャッジと相互確認する。

FJ

レフリーは7ヤードをフィールドジャッジが計測することを確認する。

R

審判全員で、ダウンの確認を指のシグナルで行う。

R

BJ

L

FJ

ファーストダウン	人差し指又は人差し指と中指をつけて立てる	
セカンドダウン	人差し指と小指を立てる	
サードダウン	中指、薬指、小指を立てる	
フォースダウン	指を立てない	

レフリーは、レディー・フォー・プレーを宣言する。

R

※フラッグを着ける場合など、必要に応じて、宣言するまでの時間の掛け方を調整する。

例) 『赤チーム、セカンドダウン!』…笛を吹く

レフリー及びバックジャッジは、選手のフラッグ位置を確認する。

R

バックジャッジは15秒の計時を行う。原則、時間のコールは行わない。

BJ

ラインズマンはオフENSEのスタート時の反則がないか確認する。

L

フィールドジャッジはディフェンスのスタート時の反則がないか確認する。

FJ

### NFL FLAG 大会規則より引用

スタート時の反則	オフENSE	<p>[5ヤード罰退]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>レディー・フォー・プレー後、15秒以内に次のプレーを開始しなかった。</li> <li>プレーを開始する前に全員が1秒以上静止しなかった。</li> <li>スナップの前に、つま先がニュートラルゾーンへ侵入した。</li> <li>センターがスナップ前に、ボールを地面から離れた。</li> <li>2人以上の選手がモーションした。</li> <li>モーションやシフト開始前に全員が1秒以上静止しなかった。</li> <li>モーションする以外の攻撃側選手が、プレーの開始の時まで動かずその位置に静止しなかった。</li> <li>スナップされた時に相手のゴールラインに向かってモーションした。</li> <li>モーションやシフトを行うにあたって、プレーの開始と勘違いされるような急激な動きをした。</li> <li>クォーターバック以外が直接手渡しでスナップを受けられる位置にいた。</li> </ul>
	ディフェンス	<p>[5ヤード罰退]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スナップの前に、つま先がニュートラルゾーンに侵入した。</li> <li>※ただし、プレー開始前に戻れば反則とならない。</li> </ul>



## プレー進行時

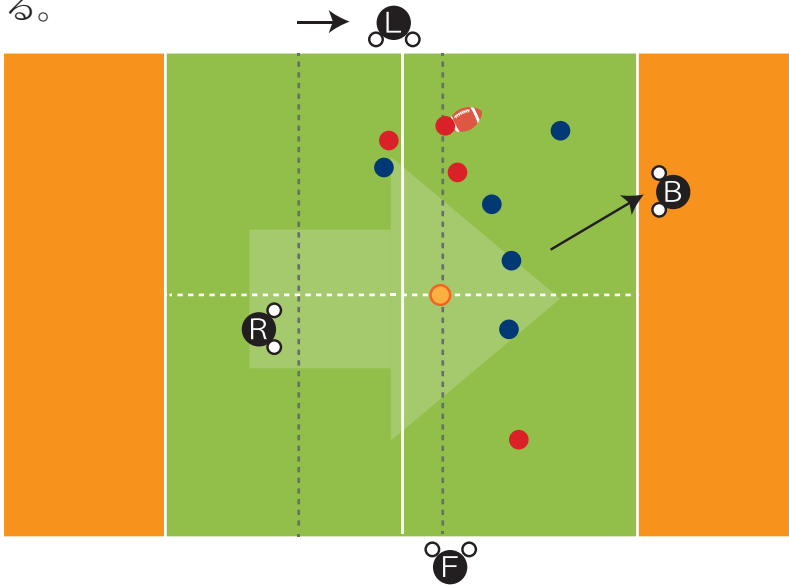
### 1 位置取りと動き方

レフリーは、ボールキャリアを追うように移動する。

ラインズマンは、ボールキャリアと並走するように移動する。但し、パス時の反則の判定が必要な場合には、判定後にボールキャリアを追うように移動する。

フィールドジャッジは、ボールキャリアと並走するように移動する。但し、パス時においてはバックジャッジをサポートするため、自分が管轄するサイドのレシーバーやディフェンダーも視野に入れながら移動する。

バックジャッジは、常に選手より後方で判定できるように移動する。



タッチダウンのシグナル

レフリー及びバックジャッジはフィールド中央寄りの判定を主に行う。

ラインズマン及びフィールドジャッジは、自分が管轄するサイドライン際の判定を主に行う。

### 2 ボールデッド地点の判定

ボールデッド地点の確保は、審判全員が相互確認し、行うことを原則とする。

レフリーはボールデッド地点より最も近い位置にいた審判及び最も判定しやすい位置にいた審判と相互確認を行う。

ラインズマン及びフィールドジャッジは、自分サイドライン上の判定を主に行う。

ボールデッド地点の位置が、ハーフラインを越えた時には、ファーストダウンのハンドシグナルを用いて、レフリーに伝える。

### 3 タッチダウンの判定

タッチダウンの判定はシグナルによって行う。ただし、自分が確認できなかった場合にはシグナルは出さない。

R

L

FJ

BJ

R BJ

L FJ

R BJ L FJ

R

L FJ

BJ L FJ

R BJ L FJ

#### 4 反則に関わる判定

反則の判定は、審判全員が相互確認し、行うことを原則とする。

特に、安全に関わる接触時の反則については、必要に応じて協議し厳格な判定を行うとともに、再発を防ぐよう注意喚起を行う。

レフリーは、パスが投げられたのが先か、フラッグを取ったのが先かを判定する。その際、パスが成功したか、失敗したかの判断は他の3名の審判に委ねる。

レフリーは、ボールがスクリメージラインを越えるまで、7秒を越えていないかを計時し、判定を行う。

ラインズマンは、フォワードパスかバックワードパスかを判定する。

ラインズマンは、パスを投げる際に、スクリメージラインを越えていないかを判定する。

R B J L F J

R

R

L

#### NFL FLAG 大会規則より引用

罰則の施行はプレビース・スポットから行う。		
スタート時の反則	オフェンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レディー・フォー・プレー後、15秒以内に次のプレーを開始しなかった。</li> <li>・プレーを開始する前に全員が1秒以上静止しなかった。</li> <li>・スナップ前に、体の地面に接した部位が、スクリメージラインを越えた。</li> <li>・センターがスナップ前に、ボールを地面から離れた。</li> <li>・センターが両足の下を通さずにスナップした。</li> <li>・2人以上の選手がモーションした。</li> <li>・モーションやシフト開始前に全員が1秒以上静止しなかった。</li> <li>・モーションする以外の攻撃側選手が、プレーの開始の時まで動かずその位置に静止しなかった。</li> <li>・スナップされた時に相手のゴールラインに向ってモーションした。</li> <li>・モーションやシフトを行うにあたって、プレーの開始と勘違いされるような急激な動きをした。</li> <li>・クォーターバック以外が直接手渡しでスナップを受けられる位置にいた。</li> </ul>
	ディフェンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スナップ前に、体の地面に接した部位が、スクリメージラインを越えた。</li> </ul> <p>※ただし、プレー開始前に戻れば反則とならない。</p>
パス時の反則	オフェンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パスを2度投げた。(前に投げるパス)</li> <li>・パスを投げる選手の足が攻撃側スクリメージラインを越えていた。</li> <li>・攻撃側スクリメージラインを越えてからピッチ、ハンドオフをした。</li> <li>・攻撃側スクリメージラインを一度越えた後に、ラインの手前に戻ってパス、ピッチ、ハンドオフをした。</li> <li>・クォーターバックが、センターに直接ボールを手渡した。</li> </ul> <p>[10ヤード罰退]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パスをキャッチするとき、守備側選手に接触した。</li> </ul>
	ディフェンス	<p>[10ヤード罰退]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パスをキャッチしようとしている攻撃側選手に対して、接触した。</li> </ul>
接触時等の反則	共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腰周りにフラッグ以外の物を付けた。</li> <li>・フラッグをジャージ等で隠したり、ベルトを緩めたり、フラッグの装着位置を腰部分の左右から移動させ取りにくくした。</li> </ul> <p>[10ヤード罰退]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手のユニフォームなどを掴んだ。</li> </ul>
	オフェンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のフラッグを相手に取られないよう手や腕で押さえた。</li> <li>・フラッグを取りに来た選手の手を叫びた。</li> </ul> <p>[10ヤード罰退]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボールキャリアから相手にぶつかった。</li> <li>・攻撃側選手が守備側選手の進路を妨害した。</li> <li>・7ヤード後方から手を挙げてラッシュを行う守備側選手の進路を、攻撃側選手が確保しなかった。</li> </ul>
	ディフェンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボールキャリア以外の攻撃側選手のフラッグを故意に取った。</li> </ul> <p>[10ヤード罰退]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボールキャリアの前に急に立ちはだかたり、突進したりして接触した。</li> <li>・攻撃側選手にぶつかった。</li> <li>・ボールキャリアが保持しているボールを、叩いたり、かきだしたりした。</li> <li>・パスを投げようとしている攻撃側選手に対して、手を挙げて覆いかぶさるようにしたり、手を上げて突進したりした。</li> <li>・パスを投げ終わった攻撃側選手に接触した。</li> </ul>
その他の反則	共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレー開始後に交代したり、6人以上でプレーをした。</li> <li>・交代を装うことによって相手を混乱させた。</li> <li>・ハドルに6人以上の選手が加わった。</li> </ul>
	オフェンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレー中にフィールド外へ出た攻撃側選手が、相手側がタッチする前に、ボールにタッチした。</li> <li>・クォーターバックが自らそのままボールキャリアとしてスクリメージラインを越えた。</li> <li>・ノー・ランニング・ゾーンでランプレーをした。</li> <li>・攻撃側選手がプレー開始後7秒以上、スクリメージライン後方でボールを確保し続けた。</li> </ul>
	ディフェンス	<p>プレー開始時に、スクリメージラインより7ヤード後方にいなかった守備側選手が、クォーターバックがパス、ピッチ、ハンドオフを行う前に、スクリメージラインを越えた。または7ヤード後方にいたが静止していなかった。</p>

罰則の施行は反則をした地点から行う。		
パス時の反則	ディフェンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・守備側選手がインターセプトをした後、他の選手にボールを渡した。</li> </ul>
接触時等の反則	オフェンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボールキャリアが、ジャンプ、ダイブ、スライディング、スピンをした。</li> </ul>



### 5 タイムアウト取得時

レフリーは、チームからチームタイムアウトが申告されたら、計時を止め、笛を吹き、タイムアウトのシグナルを出す。また、ボールデッド地点を確保し、ダウン数を確認する。

R

レフリーは、タイムアウトを申告したチームを指し、タイムアウトの取得数を伝える。

R

バックジャッジは、タイムアウトの計時（60秒）を行う。

BJ

レフリーは、タイムアウト取得数を管理する。

R

レフリーは、タイムアウト終了後、レディ・フォー・プレーを宣言し、プレー開始後計時を再開する。



タイムアウトのシグナル

### 6 ハーフタイム時

攻撃側チームのボールを上にあげ、笛を吹き、ハーフタイムを宣言する。

R

前半の得点を確認し、両チームに伝達する。

バックジャッジはハーフタイムの計時（2分）を行う。30秒前になったらレフリーに伝える。

BJ

審判全員で、前半の注意事項等確認し、必要に応じて各チームに伝える。

R

BJ

L

FJ

### 7 ゲームの終了時

レフリーは残り時間が0秒となり、実行中のプレーが終了した時点で攻撃側チームのボールを上にあげ、笛を吹き、試合終了を宣言する。

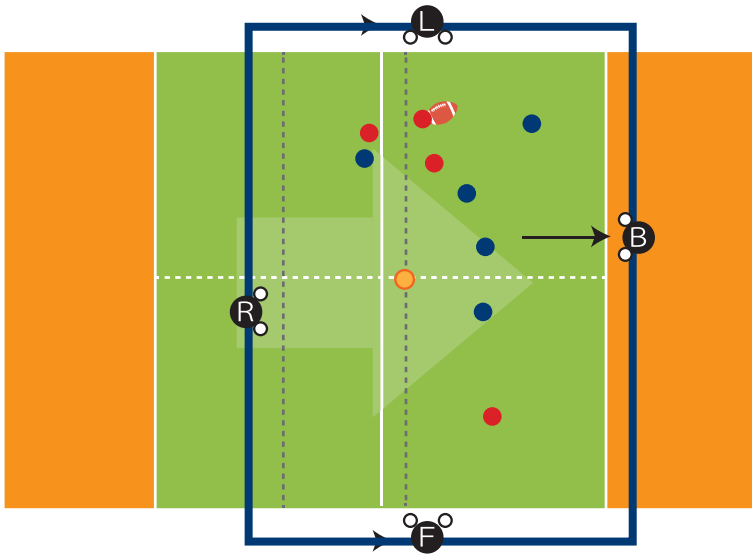
R



## 8 ボックスイン

常に全ての選手が、審判をつないだボックス内に存在するように、移動し判定を行う。

R B J L F J



## 9 ゴール及びハーフライン3ヤード以内での位置取りや動き方等

レフリーは接触に関する注意喚起を行う。

バックジャッジは、エンドライン上の判定が確保できるように移動する。パスプレーの際、選手がボールをエンドラインより内側で確保したか、否かの判定を行う。

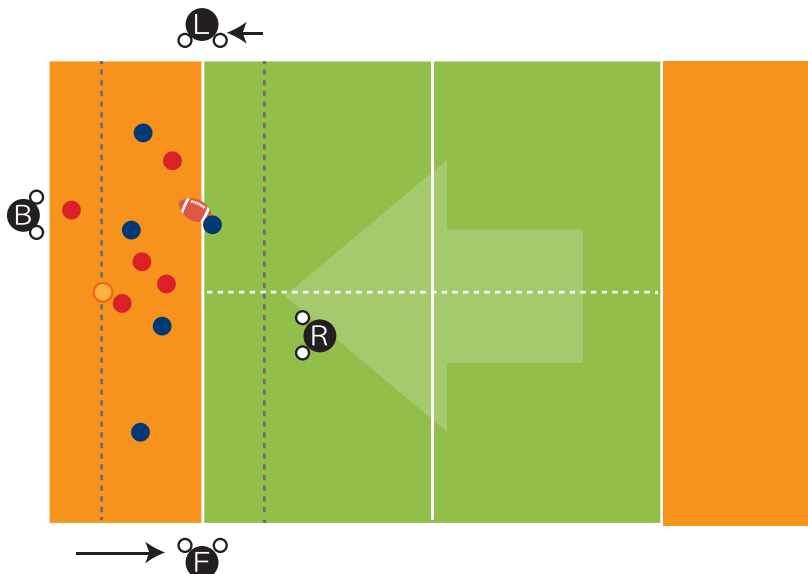
R B J

ラインズマンは、パス時の反則の判定が不要と判断した時点で、ゴールラインの延長線上に移動し、ボールキャリアの腰の位置を基準としてタッチダウンの判定を行う。パスプレーの際、選手がボールをサイドラインより内側で確保したか、否かの判定を行う。

L

フィールドジャッジは、ゴールラインの延長線上に移動し、ボールキャリアの腰の位置を基準としてタッチダウンの判定を行う。パスプレーの際、選手がボールをサイドラインより内側で確保したか、否かの判定を行う。

F J





## 罰則の施行

審判は、反則（反則の疑いのあるプレーを含む）が発生したら、試合を止めずに、ファウルマーカを投げる。

**R BJ L FJ**

但し、オフenseのスタートに関する反則が発生した場合は、笛を吹き、ファウルマーカを投げ、試合を止める。

審判は、プレー終了後、投げたファウルマーカを、反則が発生した地点に置き、レフリーに説明を行う。

その際、他の審判は、ボールデッド地点及びプレビアス・スポットを確保する。

レフリーは、必要に応じて、全ての審判に確認を行う。

※ 判定に時間がかかる場合は、計時を止める。

### 反則の施行

レフリーは、被反則チームに反則の施行を確認する。(辞退の有無)

**R**

### 罰則の施行

レフリーは、必要に応じてラインズマンと共に、罰則ヤードを測り、罰則を施行する。

**R L**

## NFL FLAG 大会規則より引用

### 1 オフェンスの罰則

- ① 5 または 10 ヤード罰退し、次の攻撃を行う（ロス・オブ・ダウン）。  
※ 罰退距離については、反則の項目を参照のこと。
- ② 攻撃側が自陣エンドゾーン内で反則した場合は、セーフティとする。

### 2 ディフェンスの罰則

- ① 5 または 10 ヤード罰退し、ファーストダウンとする。  
※ 罰退距離については、反則の項目を参照のこと。

### 3 共通する罰則

- ① 罰退距離が、施行地点からゴールラインまでの距離の半分を越えてしまう場合は、ゴールまでの半分の距離の罰則を施行する。

### 4 罰則の施行

- ① 全ての罰則の施行地点はプレビアス・スポットから行う。  
例外：プレー終了後からレディー・フォー・プレー前に発生した反則は、次のプレー開始地点を施行地点とする。  
例外：インターセプト後に発生した反則は、ボールデッド地点を施行地点とする。ただし、反則発生地点がボールデッド地点より後方の場合は、ボールデッド地点から施行するか反則発生地点から施行するか被反則チームが選択できる。
- ② 被反則チームは、相手チームの罰則の施行を、辞退することもできる。
- ③ プレー中に発生した反則は、プレー終了後に反則を適用し罰則を施行する。プレー終了後から次のスナップ前に発生した反則は、直ちに反則を適用し罰則を施行する。
- ④ 両方のチームに反則が発生した場合は、プレーをやり直す。
- ⑤ 一つのプレーの間に同一チームが2つ以上の反則を犯した場合は、一つのみ適用する。



## 審判用具の準備

- ・ 審判着
- ・ ファウルマーカ― (イエローフラッグ)
- ・ 笛 (ホイッスル)
- ・ ビーンズマーカ―
- ・ ヤードマーカ―
- ・ 得点記録表
- ・ ストップウォッチ



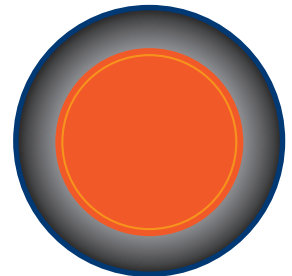
審判着



ファウルマーカ―  
(イエローフラッグ)



ビーンズマーカ―



ヤードマーカ―

NFL FLAG審判法 2020年度版 中学生以上  
2020年04月1日 第1刷発行  
制 作: NFL FLAG実行委員会  
発行所: 公益財団法人 日本フラッグフットボール協会  
TEL 03-4455-9046 E-mail nfl-info@japanflag.org



**FLAG FOOTBALL**  
JAPAN FLAG FOOTBALL ORGANIZATION